

商駅プロジェクト

～予土線と商店街とふるさとの活性化を目指して～

2年2組 形山太一 2年2組 篠原洋助 2年2組 新城陽向
2年2組 杉山陽美葵 2年2組 田中真菜 2年2組 水野真衣
指導者 井上 淳一

1 課題設定の理由

日常から商店街に活気がないことを感じ、それにより地域の活気が下がっていると感じている。現在予土線の運行本数の減少や利用者の減少（表1）は、深刻な問題となっている。また、地方の鉄道維持のための経営が厳しく、運行の継続が危ぶまれてる。商店街も、閑散としており、シャッターが下りたままの店も多く、通行量が減少している（表2）。

そのため、駅と商店街が近いことを利用し、繋がりを深めることによって宇和島市がより活気に溢れた素敵な街になるのではないかと考え今回の研究を行った。

表1 JR 予土線の利用者数

西暦	2019	2020	2021
乗車人数(1日平均)	436	422	420

表2 袋町商店街と恵美須町商店街の年度別通通行料推移

水曜日	増減指定数(H24=100)					日曜日	増減指定数(H24=100)				
	H26	H28	H30	R2	R4		H26	H28	H30	R2	R4
袋町1	106%	98%	92%	73%	68%	袋町1	84%	79%	61%	55%	44%
袋町2	102%	88%	84%	74%	70%	袋町2	90%	71%	66%	48%	44%
恵美須町1	98%	94%	83%	79%	78%	恵美須町1	100%	86%	59%	56%	56%
恵美須町2	94%	119%	57%	94%	89%	恵美須町2	110%	96%	44%	73%	81%

2 仮説

人口減少や、交通手段の発達、商業店舗の増加により、商店街と予土線の利用者が減少した（表1）（表2）。また、そもそも商店街に行く目的がないため人が全然いない。商店街や予土線に魅力を感じてもらうため、イベントを実施すればより多くの人に魅力を感じてもらえるのではないかな。

3 研究の方法

(1) イベントの計画

宇和島市の市街地周辺の小中学生を対象に、予土線を利用した遠足プランの計画（二年度）将来を担う小中学生に予土線周辺の魅力を知り、体験してもらえるような計画を立てる。

(2) 地域のイベントへの参加

ア みま里山クウカン実験 2024 クリエイティブキャンプへの参加

イ JR 予土線ハロウィン列車

ウ 予土線・文化観光プログラムの開発及び実施

① 二名駅における河童伝説を基にしたイベント

② 真土駅における文化観光プログラムの開発

エ 旅する本プログラム

2025年3月に窪川駅周辺で行われる「本」をテーマとした芸術祭に向けた本の作成

(3) 予土あす青春18 高校生シンポジウムの運営

(4) 中学生企画の予土線沿いの河童にまつわる伝説を元にした小学生向けツアー

4 結果と考察

(1) 遠足プラン

宇和島市の市街地周辺の小中学生を対象に、予土線を利用した松野町の水族館である「おさかな館」を利用した遠足プランを計画した。しかし、同様のプランが既に実施されていたため、松野方面の別のプランを計画し、12月26日にフィールドワークを行い、松野東小学校、民宿「わらび」でお話を伺った。これから松野東小学校の児童との関わりを持ちながら、予土線を活用した体験プログラムを組むなかでこれらの地域資源を活用する方法を検討していきたい。

(2) 地域のイベントへの参加

ア みま里山クウカン実験 2024 クリエイティブキャンプへの参加

予土線周辺の高校や、名城大学・慶応義塾大学・早稲田大学の方々をゲストスピーカーに迎え、ワークショップやグループディスカッション、交流会を行った。予土線の関係人口について主に話し合い、グループディスカッションでは建築家の隈研吾さんに提案するという想定で、予土線を活用した様々なプランを作成した。

イ JR 予土線ハロウィン列車

このイベントに参加したことで、予土線に関心がある人が一定数いることや、イベントのために足を運んでくださる方もいることが分かった。しかし、イベントの認知度が低く、参加人数が上限人数を下回っていたため、予土線に興味がある層以外へのこれからの宣伝方法が課題だと考えられる。

ウ 予土線・文化観光プログラムの開発及び実施

① 現在休止中

② 4の(1)にて記載

エ 旅する本プログラム

2025年3月に窪川駅周辺で開催される、「本」をテーマにした芸術祭に向け、本の作成をしている。

(3) 「予土あす青春 18 高校生シンポジウム」の運営

予土線周辺の高校が参加し、「予土あす青春 18 高校生シンポジウム」が2月11日に西土佐にて開催される。私たちの班は運営を担当する。シンポジウムでは、予土線周辺の街歩きをし、各学校の取組の発表を行う。また、予土線周辺の課題に向き合い、課題に対する解決策

等を

議論する。

(4) 中学生企画の予土線沿いの河童にまつわる伝説を元にした小学生向けツアー

宇和島市立三間中学校の生徒が企画している河童伝説を元にした小学生向けのツアーが今年度中に予定されている。そのツアーのための事前準備とPV制作、当日の運営協力をする予定である。

5 まとめと今後の課題

今年度は予土線を中心に研究を行った。来年度は商店街の活性化プランの立案にも注力し、予土線と商店街の同時活性化を目標に活動を進めていきたい。

6 謝辞

インタビューにご協力いただいた JR 宇和島駅、商工会議所、宇和島市役所の皆様、「予土あす青春 18 プロジェクト」の皆様に心から感謝申し上げます。

7 参考文献

令和4年度通行報告書（宇和島商工会議所 宇和島商店街 恵美須町2丁目商店街振興組合 駅前南側商店街繁栄会）